

平成27年度 第4回市民参加及び協働推進委員会会議録

○日 時 平成27年10月8日(木) 午後8時20分～9時10分

○場 所 市役所2階 市長公室

○出席者

・委員 有賀 輝彦委員、桑原 真紗委員、長ヶ原 美博委員
對馬 明子委員、富田 實委員、中澤 佳珠代委員
松下 崇子委員、松本 はるみ委員
三上 聰雄委員、三木 ともね委員

・事務局 協働推進課：古寺課長、下田副課長、藤田主査

○傍聴者 富士見市情報公開条例第25条第2号(第7条第4号に該当)に
基づき非公開のため、傍聴者はなし。

内 容
1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 議 題
(1) 協議事項
①協働事業提案制度 市民提案型協働事業プレゼンテーションによる選考について 委員長：提案された2件の協働事業について、プレゼンテーションを提案された団 体にしていただいた。各委員には、提案された協働事業について意見等を だしていただき、推進委員会として選考に関して意見を提出する。
○提案事業「すわの森環境保全事業(ホテルの里づくり)」について
委 員：まちづくりとしてポイントとなる事業だと思うが、今の状況では事業を継 続できるか不安はある。
委 員：実施すべき事業だと思う。いろいろな課題はあっても、市民と行政がそれ ぞれ役割を考えて、行政から実施に対する後方支援があればそれが影響し、 状況は変化するのではないかと。
委 員：環境保全は、小さなところから必要だと思う。ただ、小さな子どもやお年 寄りも参加するならば、安全面の考慮をお願いしたい。
委 員：以前、清掃活動に参加した。活動の継続に対して、積極的な意思を感じた。 ホテルが棲息する環境への整備を含め、自然を循環させるような環境づく りの活動を継続してもらいたい。
委 員：ホテルが棲息できる環境となるまで、時間はかかると思う。市から活動に

対する支援が続いてほしい。

○提案事業「コスモス育成活動事業」について

委員：暑い時期の活動には、参加者用に飲料水等の準備も必要。また、トイレがなく不便である。

委員：例えば観光地の場合、トイレや休憩所は必要である。作業する方のためにも配慮が必要だ。

委員：公園等の他に、水防センターにトイレはあるが、普段の使用はできない。

委員：作業時には簡易テント等を設置し、休憩のための設備も必要ではないか。

委員：地域や町会等に参加協力をお願いしたら、そういった設備を借りられるのではないか。

委員：地域や町会に関しては、行政からののはたらきかけを考えてはどうか。

委員：地元中学生がボランティア参加していると聞き、そういったすばらしい時間を持てることが必要だと感じた。事業を継続し、参加者を広げていただきたい。トイレの利用や、作業に対する安全面の配慮が必要である。

委員：作業の大変さがよくわかる。継続して行ってほしい。市にとっても良い事業だと思う。

委員：自主的な活動を、続けてきたことがすばらしい。多世代の人々が関わって行われるほうが良い。体験イベントを企画し、参加者が体験した楽しさを多くの人に伝えたら、ボランティア参加者も広がるのではないか。

委員：全市で若い方のボランティアを募ってはどうか。このような事業をきっかけに、ボランティア活動が日常的なものになってほしい。活動は安全に、事故のないように行ってほしい。

【市民提案型協働事業の選考に関する意見】

「すわの森環境保全事業（ホタルの里づくり）」及び「コスモス育成活動事業」を協働事業として実施すべきである。

(2) その他

①次回の会議日程について

次回（第5回）は2月開催予定。（開催日程は後日調整させていただく。）

4. 閉会 対馬副委員